

産科・周産母子センターに通院中の患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠高血圧症候群反復の予知マーカーに関する後方視的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究機関名・研究責任名・所属]

北海道大学病院産科・周産母子センター 森川 守 副センター長・准教授

[研究の目的]

妊娠高血圧症候群を発症した妊婦さんでは、次回妊娠でも妊娠高血圧症候群を反復する場合があります。どのような妊婦さんが 2 回の連続妊娠で妊娠高血圧症候群を反復するか調査し、今回妊娠高血圧症候群を発症した妊婦さんにおける次回の妊娠高血圧症候群の発症予知に役立つ因子(パラメーター)を明らかにします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当科で 2009 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までの 9 年間に妊娠 22 週以降に分娩した妊婦のうち、当科で 2 回の分娩をした方(妊娠高血圧症候群を発症しなかった妊婦さんも含みます。)

○利用するカルテ情報

2回連続した妊娠に関して、各々

1 母体所見：母体年齢、既往分娩の有無、非妊時BMI、分娩前BMI、基礎疾患(本態性高血圧、自己免疫疾患、など)、産科学的合併症(妊娠糖尿病など)、分娩週数、分娩様式(帝王切開術施行の有無)、など

2. 妊娠高血圧症候群：発症の有無、発症した妊娠週数、分娩前の収縮期/拡張期血圧、分娩前の尿蛋白/クレアチニン比、子癇やHELLP症候群、肺水腫、周産期心筋症の発症の有無、降圧薬などの使用の有無、など

3. 分娩直前の血液検査結果：ヘモグロビン値、ヘマトクリット値、血小板数、フィブリノゲン値、アンチトロンビン活性、尿酸値、CRP値、など

4 胎児・新生児所見：胎児発育不全の有無、胎児機能不全の有無、出生児体重、性別、新

生児仮死の有無、死亡時期、死亡原因、など

[研究実施期間] 実施許可日～2019年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/5941(医局) FAX 011-706-7711